

よろこび 14号の発行に際しまして一言ご挨拶申し上げます。地域の皆様には日頃からみゆき広場の活動にご理解を頂き、誠にありがとうございます。さて、2024年11月22日、御幸町で「第43回町民文化祭&防災フェア」が開催され、当事業所は作品展示と自主製品の販売で参加させていただきました。地域の皆様には多くのご協力をいただき、おかげさまで盛況のうちに終えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。また、法人としましては設立30周年という節目の年を迎えました。この30年の歩みは、利用者の皆様、ご家族、そして地域の皆様の温かいご支援の賜物です。これまでの歴史を振り返りつつ、未来への一歩を力強く踏み出していきたいと考えております。今後も、利用者の皆様が安心して過ごせる環境作りと、地域の皆様との連携を大切にしながら、さらなる福祉サービスの向上を目指してまいります。どうぞ変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



管理者 秦



職員コラムコーナー

～ もっと知りたい ～

みゆき広場に来て3年目がスタートしました。これまで保育所や放課後等デイサービスで働いてきましたが、障害の特性についての知識は少しかじった程度の初心者。入職後の教育プログラム《入社後一定期間基礎指導を行います。》や勉強会《月に二回皆で議題を決めて意見を出し合い勉強をする時間を設けています。》、研修などで障害の特性について学び、仲間と関わりながら日々勉強中です。

私には4人子どもがいますが、3番目の長男は赤ちゃんの頃から人見知り場所見知り激しい子でした。今は小学1年生になり、新しい環境やいつもと違う流れが苦手、言葉での指示が入りにくいなどの困りごとが出てきました。我が子になると感情的になりやすく仲間と同じように関わることができず、家では怒ってばかり…。長男が困っている事、得意な事を知るために発達検査の予約をしました。困っている時にどう手伝ったらよいのか知ることができれば、長男も私も今より楽になるはず。みゆき広場でも仲間の特性に合った支援ができる生活支援員になることを目指して、これからも学び続けていきます。

《みゆき広場 勤続2年 スタッフ》



ダイハツ作品展示

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぼん様との業務委託契約による、ダイハツ広島販売株式会社様への絵画のレンタルの作品報告です。2019年開始以降、3ヶ月毎に作品を架け替えさせて頂き、各店舗においてみゆき広場利用者さんの制作した作品を展示させて頂いております。

現在ご覧の作品が展示されています☆是非お立ち寄りください☆

神辺フジグラン店
(神辺町新道上1-4-1)
作品名:いいネ!



U-CAR南蔵王店
(南蔵王町2-17-15)
作品名:天国と地獄



《編集後記》

おかげさまで『よろこび』第14号を発行することが出来ました。ありがとうございます!

明けましておめでとうございます。2025年も宜しく願い申し上げます。昨年2024年につきまして、前半は、未だ新型コロナウイルス感染拡大により『土曜朝市』の中止の決断などがありましたが、その後において継続した『土曜朝市』の開催、広島商銀福山支店様店舗での販売、第43回町民文化祭も開催され、みゆき広場の製品の販売の機会も沢山頂きました。イベントでは地区の障がい者スポーツ大会や球技大会が5年ぶりに開催。従来通りのイベントではなく“ソーシャルディスタンス”を考慮した競技内容への変更など、感染症対策を努めた計画の上での開催でした。みゆき広場もこの両イベント共に参加させて頂きましたが、開催を待ち望んだ参加利用者さんの生き生きとした表情を見ることが出来て、記事のコンサートにもありますように『できる楽しみ』の再開が求められていることを改めて感じる事ができました。この冬のインフルエンザの流行もあり、まだまだ感染対策の継続を緩めることはできませんが、引き続き、感染症対策に努め、その都度必要な対策を試行錯誤しつつ、皆さんと元気に楽しみを見つけたいと思います。

最後になりましたが、いつも地域でお会いした際、あいさつ等のお声かけ下さりありがとうございます。散歩活動などで地域を歩く中、皆様と関われる機会を励みに取り組んでいます。

発行責任者 辻 恵一



今回はみゆき広場を利用されている利用者さんのご家族に『みゆき広場とはどんな存在ですか?』をテーマにお話をお聞きました。

日頃からご家族の皆さんとはたくさんのお話をさせて頂いていますが... “どんなお気持ちでみゆき広場を利用して下さってるのだろう??” と、このテーマはとても気になることです。

みゆき広場利用5年のAさんのお母様の声を聞かせて頂きました。

息子は支援学校高等部に入学してすぐに不登校になりました。過敏で不安が強くルーティン以外での外出も難しかったです。デイサービスも通えず中止していましたが、また通えるようにたくさんの配慮をして頂き、学校のお友達が居ない時間帯に週に1~2回お世話になっていました。

みゆき広場さんの事は先輩ママさんのお子さんが通所されていてよく聞いていて、ステキな対応をしてくださるんだなあ。いつか我が子もご縁があるといいなあと思っていました。息子がデイサービス利用中で居ない時にみゆき広場さんに見学させてもらい、みゆき広場さんの空間で息子がリラックスしている様子が頭に浮かびました。その見学から2年間デイサービスヘルパーさんに助けてもらいながら家で過ごしました。

いよいよみゆき広場さんを利用できることになり、利用までたくさんの工夫がありました。まずはデイサービスにみゆき広場職員さんが何度も顔合わせに来て頂きました。その後息子のみゆき広場見学。私と息子の2人での外出がむずかしい為、デイサービスのドライブ中にみゆき広場のトイレを借りる為に建物内に入る形をとって頂きました。みゆき広場利用開始の前日にデイサービスでみゆき広場の職員さん同席の元で卒業式の様なものをして頂き、「明日からみゆき広場に行くこと」を伝えて頂きました。毎日ではなく水曜日と土曜日はお休みの予定で利用スタート。息子の特性に寄り添って頂き頓服を服用しながら通い始めました。最初2年ぐらいは毎朝えずいたりしていましたが、今ではえずきは無くなりました。ルーティンが崩れることに強い緊張と不安を感じる為、スケジュールの変更や通院などの日程を親ではなくみゆき広場の職員さんから伝えてもらうようにしました。とても効果があり、パニックも徐々に減っていきました。通院も母と2人で行くのが難しい為、職員さんに付き添って頂いています。見違えるように落ち着いて通院できるようになりました。

みゆき広場の職員さんには息子との生活が穏やかに続けられるよう支援して頂いています。我が家には無くてはならない存在です。

お気持ちをお聞きできて改めて気持ちが引き締まりました。たくさんの出来事があり、ご家族の思いがあり、今に至っているのだと。。Aさんと出会った5年前を思い返しました。これからも“無くてはならない存在”にお応えできるように職員一同邁進していきたいと思っております!!



福祉車両の整備

日本財団様より助成金をいただきました

日本財団 様より、2024 年度日本財団福祉車両助成金事業において、2,590,000 円の助成金をいただき、福祉車両整備の為、日産セレナ1台の購入資金に充てさせていただきました♪

日本財団様本当にありがとうございました。

購入させていただいた車両は、大切に使用させていただきます。



コンサート開催

昨年 2024 年は、3つのボランティアコンサートを楽しむことができました♪

9月20日、シンガーソングライターの松尾貴臣さんまつおだかおみが来演♪オリジナル曲や耳なじみの曲を聴かせてくださいました♪松尾貴臣さんは今回2回目のコンサートでした。



10月17日、シンガーソングライターの友近890さんともちかやっくんが来演♪オリジナル曲やみんなが知っている曲メドレーを聴かせてくださいました♪

12月4日、大正琴サークル団体様のお美琴会さんみごとかいが来演♪みんなが口ずさめる選曲とクリスマスソングを大正琴の音色で聴かせてくださいました♪美琴会さんは今回で4回目のコンサートでした。



2020年の新型コロナウイルス感染症拡大以降、5年ぶりのボランティアさん来演コンサートでした! みんなで待ち望んだコンサート♪どのコンサートも////楽しんでました! 今後も感染対策しながら楽しいイベントを増やしていきたいです! 来演していただけたボランティアさんに感謝です!

《 職員目線 》

管理者/サービス管理責任者
秦 昌志

このコーナーでは、職員目線から、みゆき広場の様子や取り組みなどを皆様にお伝えするコーナーです☆ “いろんな視点からみゆき広場を知ってもらいたい” そんな思いが込められています☆ そんな職員目線、第13回のテーマはこちら…



『みんな違って当たり前!』



です☆ 「みんな違って当たり前? それって普通じゃん」と思ったそこのあなた! その通りなんです 😊 最近では “多様性の時代” なんて言葉もよく聞くようになってきました☆ 皆さん言葉では理解されているんです☆ ですが、実際はどうでしょうか? 皆さん、

「みんな違って当たり前」しっかり理解することが出来ていますか? 今回は、この “みんな違って当たり前” を支援の現場に置き換えてお伝えしてみようと思います☆



では、早速ですが皆さんに質問です! 最近、支援の現場で、「オーダーメイド支援」または、「支援はオーダーメイド」なんて言葉を耳にしたことはありませんか? この “オーダーメイド” という言葉、まず意味から説明しましょう☆



～オーダーメイドとは～
在来のシステム化されたものではなく、
デザインや素材などその全てを自らの意
思で決定して制作する事。または、した
物の事。



はい! 理解出来ましたか? 「え? どういう意味?? 難しい..」と皆さんから聞こえてきそうですね 😊 オーダーメイドとは、簡単に言うと... (私の勝手なとらえ方です)

“その人の考えを聴きながら (確認しながら)、その人に合った形を作る事”

だと私は考えています☆ では、最近よく耳にする「オーダーメイド支援」という言葉、一体どういうことなのか? について考えていきましょう☆ 支援の現場では、様々な支援方法や考え方、それにちなんだ道具等があり、それについて学ぶ研修もたくさんあります☆



ですが、世の中には、こういった “すごく良い支援方法” や “すごくいい道具” がたくさんあるのに支援の現場ではなかなかうまくいかず悩んでいる職員さんがたくさんいます! これってなんでなのでしょう?? 職員さんの支援が悪いから? 知識がないから? いやいや、それは違いますよね? だって職員さんたちは、たくさん勉強されていて知識も豊富です☆ では、何故なのでしょう?

その答えはもうお分かりですよ ☆ そうです! “支援はオーダーメイド” だからです ☆ もう少しいうと、“どんなにいい支援方法でもその人に合っていなければうまくいかない” という事です!

ではここで1つ例を出しましょう ☆ 題名は『眼鏡の話』です ☆

(※眼鏡やコンタクトレンズをしていない方は想像しながら読んでみてください)



さてさて、眼鏡もしくはコンタクトレンズをしている方はとても多いですよ ☆ ここでは眼鏡に特化して話しましょう ☆ では皆さん想像してみてください ☆ 早速ですが、眼鏡を作ろうと思った時、皆さんはまず初めに何処に行きますか? 大体の方は、眼科に行きますよね? それは何故ですか? それは、眼鏡を作る前段階として自分の目はどれほどの状況なのか? を確認するためですよ ☆ だって、ここがわからないと眼鏡は作れませんから...

では、皆さんは目の状態を確認するため眼科に行くわけですが、眼科では、視力検査以外にたくさん検査が行われます!



眼鏡を持っている方であれば必ず行った事のある事ばかりだと思います ☆ では何故こんな事をするのでしょうか? それは、人によって目の見え方が違うからですよ ☆ さて、検査を行って、視力の状態とレンズの度数がわかったわけですが、これで終わりではありませんよね? そうです! 自分の好みに合った眼鏡フレーム選びが残っています! レンズの度数がわかったからといって眼鏡はどれでもよい訳ではありませんよね? 皆さんは、検査の結果をもって眼鏡フレームを選びに行くと思います ☆

そこで気に入りのフレームを購入し、自分に合った度数のレンズを入れてもらい、最後に眼鏡のかけ具合の調整まで行う事で、あなただけの眼鏡が完成するわけです ☆ もし、眼鏡を作る過程で検査を行わず、フレームも適当だったらどうでしょうか? 好みでもなく目に合わない眼鏡は使わなくなりますよね!

支援も同じなんです ☆ どんなにいい支援方法やどんなにいい道具があったとしても、それが “その人に合った形” でなければうまくいきませんし、利用者さんも、混乱するだけです... そして、その方法や道具を使う事が嫌いになってしまいます! 眼鏡の工程でもお分かりのように、支援を行う前に “相手の事を知る” という工程がとても重要になってきます。以上の内容を踏まえた上で、支援の現場というオーダーメイドという考え方とは... もうお分かりいただけますね ☆

“相手の事を知る努力を行いながら、相手の事を想い、支援の内容を提案しながら、その支援 (道具) を利用する相手の考えを聴きながら (確認しながら) 修正を行い形にしていく事”

となります! 支援の方法も『みんな違って当たり前』ですよ ☆ とはいえ、分かっているけど、どれが相手に合うのか? はすぐにわからないのが現実! なんです、それを探し続けるって、宝探ししてるみたいでわくわくしませんか? “相手と一緒に、相手に合う事を探し、相手が幸せになっていく過程と一緒に歩む” これがオーダーメイド支援だとみゆき広場では考えています ☆